

インフラメンテナンス国民会議 自治体支援フォーラム 参加報告

標記フォーラムに当 NPO 法人から 4 名が参加したのでその概要を報告する。

1. 日時：平成 29 年 6 月 2 日（金）10 時～17 時
2. 場所：福島県郡山市市役所及び市内現場
3. 参加者：産官学の約 80 名
4. サブタイトル：「インフラ老化時代におけるレジリエントな郡山を目指して」
5. プログラム
 - 趣旨説明、メンター（4 名）紹介、現地視察説明
 - 現地視察
 - 班（4 班）別討議の進め方説明
 - 班別討議（郡山市のインフラメンテナンスの現状・課題整理）
 - 班別討議（問題解決のための今後の取り組みの方向性についての議論）
 - 各班発表
 - メンターによる総評
 - 総括（郡山市）
6. メンター
 - 日本大学 岩城一郎教授
 - 会津大学 石橋史朗教授
 - 東日本高速道路（株）七五三野茂専任役
 - 富山市 植野芳彦技術統括監
7. 班構成
 - 1A 班：個別施設計画の計画策定と実施（橋梁）
 - 郡山市（2 名）、喜多方市、小野町、民 6 者 6 名（内当 NPO 山中理事参加）、国交省（総合政策局、東北地整）
 - 1B 班：個別施設計画の計画策定と実施（道路舗装）
 - 郡山市（2 名）、鏡石町、民 7 者 7 名（内当 NPO 鈴木副理事長参加）、国交省（総合政策局、東北地整）
 - 2 班：道路維持補修業務における地域建設業の連携やノウハウの活用方法の模索
 - 郡山市（2 名）福島県、民 7 者 7 名（内当 NPO 大島理事参加）、国交省（東北地整）
 - 3 班：市民参画の可能性
 - 郡山市（3 名）、住民代表（町内会長）、民 5 者 5 名（内当有岡理事長参加）、国交省（大臣官房）

8.聴講・随行者

福島県（2名）、喜多方市、葛尾村、相馬市（2名）、塙町（2名）、民11者（11名）、学（日大）

9.事務局

国交省総合政策局（2名）、東北地整

初めての出前自治体支援フォーラムは大勢の多種多様な人たちの参加による実り豊かな会議となった。この官（国）と学による橋渡しがいかに官（自治体）と民の連携に繋がっていくのかが今後の課題となる。

1A（桥梁）班での討議において産官学それぞれからの意見、今後の見通しなどについてそれぞれの立場、経験、知識から意見が述べられたが、地元3市町の担当は初めての各界の人が集まり、意見を述べる会議にいささか戸惑いが見られ。今後はせつかくの各界とのコンタクトとパイプが出来たのでこれを生かしたメンテナンスの対応、対処法を検討、実施していくことが肝要と言えよう。

文責：山中鷹志



1.会場の郡山市役所



2.郡山市品川市長挨拶



3.現地視察の大黒橋



4.同橋側径間部の PC 橋



各班発表（1B 班鈴木班長の発表状況）